

豊中・サンマテオ  
都市提携ニュース

第 14 号  
昭和57年 3月31日発行  
豊中・サンマテオ  
姉妹都市協会  
事務局 豊中市市長公室  
秘書課848-1121



# 閲覧用

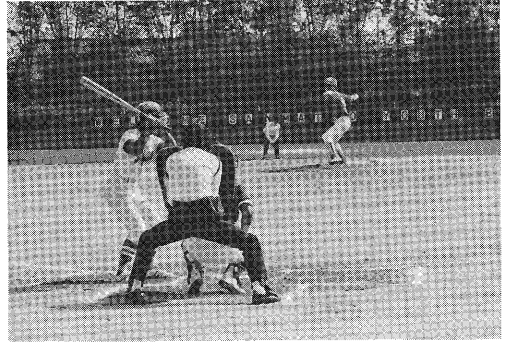
サンマテオから

少年野球チーム来豊

# サンマテオ市少年野球チーム来豊

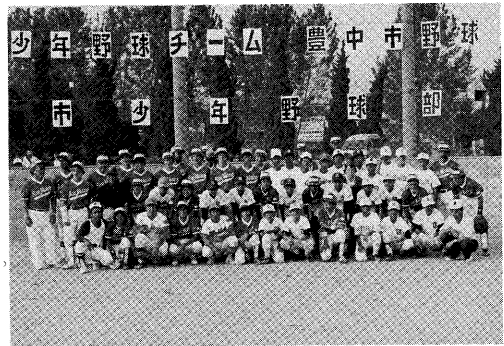
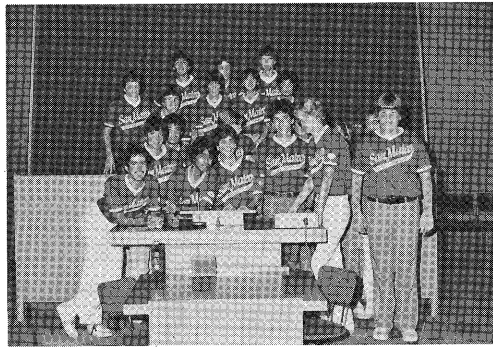
豊中市野球連盟の少年野球部の招きで、8月16日サンマテオ市の少年野球チームが来豊し、翌日豊中市役所を表敬訪問しました。また午後からは豊中市の少年野球チームと親善試合を行いました。

今回の訪問は、豊中市の少年野球チームが一昨年、サンマテオ市を訪れ、親善試合を行った答礼として来日したものです。



豊中に滞在中は親善試合を5試合行ない3勝2敗でサンマテオチームが勝ちました。

また、豊中・サンマテオ姉妹都市協会主催のパーティーをはじめ、豊中市野球連盟の皆さんによる親善野球試合、ホームパーティー、納涼踊り大会、また万博公園、奈良、京都等の見学をし、このあと信州、箱根、東京等を観光して帰国の途につきました。



この日、市役所を訪れたのは、14歳の野球少年22名を含む40名の皆さん方で、豊中市側は市長をはじめ、市の代表、野球連盟役員、ホームステイ家庭など30余名が出迎え下村輝雄豊中市長から「いま日本では、全国高等学校野球大会が注目を集めています。みなさんも、高校生にまけずよいゲームをして下さい」とあいさつ。

また、サンマテオ市の代表、ジョージ・ムサンテ氏は「野球と友情が言葉の壁をなくしてくれるでしょう」と答えました。



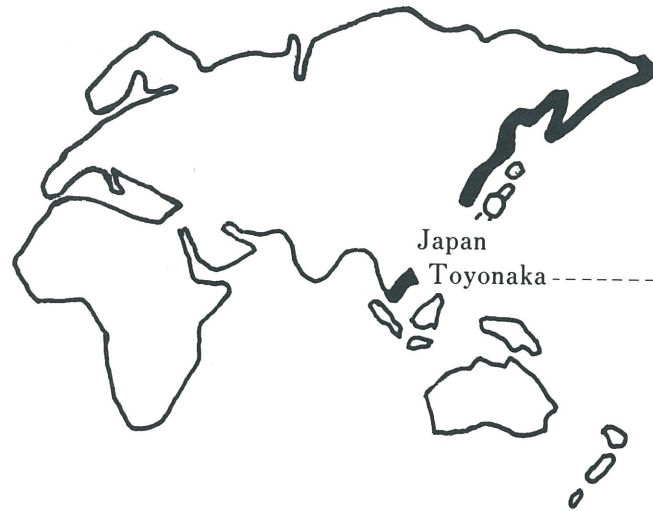


広がる  
市民交流

ことばや国境の垣根をこえて  
の相互訪問は、ますます親  
善の輪を深めています

豊中→サンマテオ

◎ロータリークラブの交換学生  
莉田恵子さんがサンマテオ市を訪問



◎3月24日～4月4日  
大阪Y.M.C.Aの中学生アメリカ体験学習ツア  
ーで内田昌弘君他11名が下村市長のメッセ  
ージを持ってサ・市訪問

サンマテオ→豊中

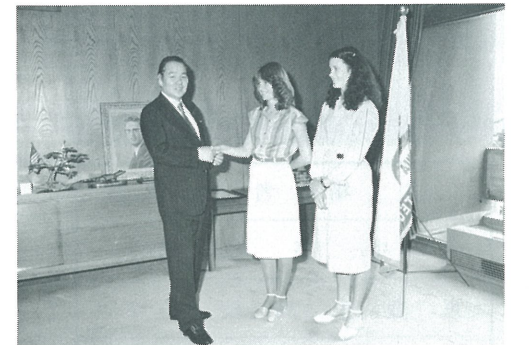
◎J・中田氏3度来豊  
6月16日…夏に来豊予定の少年野球チームの  
事前打合せのため来豊  
8月16日…サ・市少年野球チームと共に来豊  
10月13日…観光のため夫妻で来豊



◎ロータリークラブ交換学生2名来豊  
6月24日カロール・ケニーさん(16才、学生)  
とベッシー・モーアさん(15才、学生)が豊  
中市の各ロータリークラブとサ・市のロータ  
リークラブとの交換学生として来豊。  
市長から金銀の舞扇と市のパンフレットをプ  
レゼントされ、「日本はとても好きな国、訪問  
を楽しみにしていました」とニコリ。



◎8月16日～23日  
サ・市少年野球チーム来豊



◎7月9日キャレン・シャーさん(17才)来豊  
キャレンさんは、YFUの交換学生として来  
日。滞在中は京都を見物したり、日本画(特  
に墨画)を習ったり日本での生活を楽しんだ。

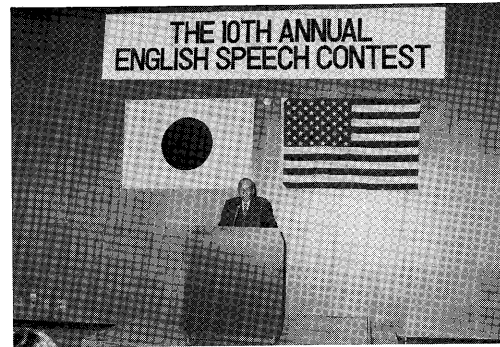
# 第10回高校英語弁論大会

優勝は

樋口さん(被昇天高)が

豊中・サンマテオ姉妹都市協会主催の「高校英語弁論大会」が、2月13日(土)午後2時から豊中市民会館で開催されました。

今年は9校16名の出場者があり、熱戦の末、被昇天高校3年樋口京子さんが栄えある優勝に輝きました。



(出場者は次のとおりです。)

出 場 者	人 数
豊 中 高 校	2
東 豊 中 高 校	2
豊 島 高 校	1
池 田 高 校	1
箕 面 高 校	2
宝 塚 高 校	2
追 手 門 学 院 高 校	1
被 昇 天 高 校	3
梅 花 高 校	2
合 計	16名

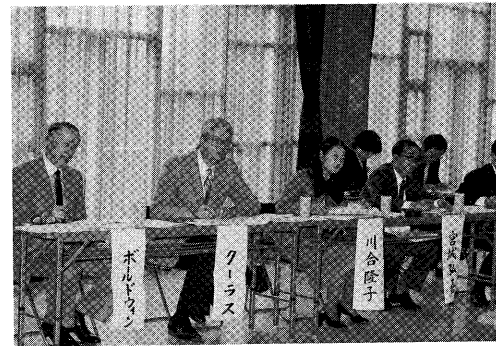


採点は、

Intonation Pronunciation	50点
Content-Composition	30点
Bearing-Delivery	20点

の配点で行ない、結果は次のとおりでした。

順位	氏 名	学 校 名
優勝	樋 口 京 子	被 昇 天 高 校
2位	条 智 子	梅 花 高 校
3位	井 上 晃 男	豊 中 高 校
4位	矢 上 由 紀	被 昇 天 高 校
5位	武 あゆみ	東 豊 中 高 校

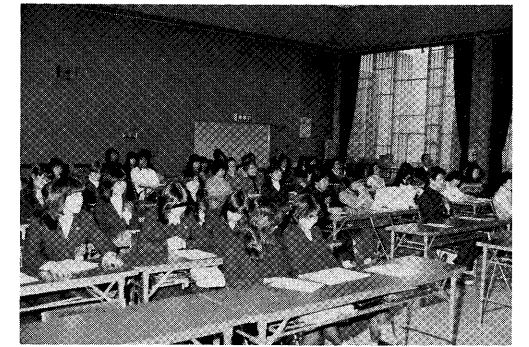


(審査の先生方)

川合隆子先生 (大阪北YMCA講師)  
 久志助良先生 (豊中市教育研究所)  
 宮城弘善先生 (大阪府科学教育センター)  
 ボールド・ウイン先生 (金蘭短期大学専任講師)  
 クラス先生 (大阪外国語大学客員教授)



Ⓐ



Ⓑ



Ⓒ

- Ⓐ 熱弁を奮う樋口さん
- Ⓑ 熱心に聞きいる聴衆
- Ⓒ サンマテオ市長賞
- Ⓓ 豊中市長賞授与
- Ⓔ 入賞者記念撮影



Ⓓ



Ⓔ



# “The Times Peninsula,,

(by Thomas Powell)

## 豊中訪問記



1982年2月6日(土)の新聞で1頁にわたり、姉妹都市豊中を紹介する記事が掲載されました。

これは米国カリフォルニア州半島タイムズ編集委員のトーマス・ポウエル氏が1月18日に豊中市を訪問した時のもので、以下その要約を紹介します。

雪の中を少しづつ進む広島から東京へ向う「弾丸列車」の中は暖かく快適だった。

私は窓の外に広がる雪におおわれた本州郊外で、小声でおしゃべりをするたくさんのブルーの背広を着た日本人の会社員にかこまれたたった1人の外国人だった。

大阪から20分のところで、サンフランシスコの姉妹都市大阪と書かれた旅行者用の本を開け、考えていた——この近くにサンマテオの姉妹都市があるはずだが……。確か「サヨナラ」という発音のような名前だが……。

—— Toyonaka。そうだ豊中だ。

私は地図でさがしみつけた。

豊中、40万都市、大阪の郊外。次の停車駅にある。

「ちょっとこのあたりを見ていこう」と私は思った。

そこで、大阪駅で荷物の中から上着と手袋をとり出し、ラッシュアワーの雑踏の中からぬけだした。

私は千載一遇のチャンスを得て日本にいたのだった。

シンガポールの新空港の査察旅行を終えた直後で、日本には1週間いることができた。カバンには着がえが入っているし、旅行者用の小切手も相当あった。日本は私の足下に横たわっており、1週間私は気の向くように過ごせばよかった。



私は案内所で豊中への行き方を尋ねた。豊中はDown townである。大阪から電車で約20分。これは私が最初にサンマテオと豊中が似ていると思った点だ。サンマテオも、サンフランシスコとこのくらい離れているのだ。案内の人は略地図をとりだし、「Toyonaka」と書き、乗るべき電車の名を日本の文字(漢字)で書いた。

あとは、それらしい人に近づいて、その地図を見せ、正しい方向に来ているかどうかを(質問しているような表情をうかべ、肩をすくめて)尋ねればよかった。どの人に尋ねた時もとても親切で、ある人などは私のために券買機でキップを買ってくれた。1時間もしないうちに私は豊中に入った。

駅を出て、私は英語の街路表示をさがしたが、どこにも見あたらなかった。交差点では車やバスが音をたてて走りすぎて行った。人々は、わきめもふらず目的地をめざし、きびきびと歩いていく。それは進行する国、現代日本のどこでも見られる路上風景だった。

しかし日本は旅行者用にはできていない。英語のガイドブックやタクシーの運転手に見せればよい便利なカードなどない。

私は最初、あの暖かい居心地のよい電車にもどり、知りあいのところへ帰り、英語を話すガイドのいる寺社に戻りたい衝動にかられた。しかしその衝動はすぐにすぎ去った。私はナップサックをひきあげ、適当にそれらしい方向を選び歩き始めた。——豊中の景色や音やにおいを吸収しようと思って——

私はスシ屋と鍼灸のちがいがわからなかった。私は最初、あの暖かい居心地のよい電車にもどり、知りあいのところへ帰り、英語を話すガイドのいる寺社に戻りたい衝動にかられた。しかしその衝動はすぐにすぎ去った。私はナップサックをひきあげ、適当にそれらしい方向を選び歩き始めた。——豊中の景色や音やにおいを吸収しようと思って——

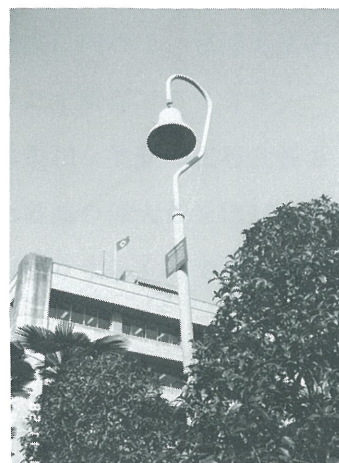


大きなものから小さなものまで、あらゆる種類の店がち並んでいた。お菓子屋、カメラ屋、花屋、金物屋、宝石……。

冬の朝店主が道に水をかけこすっているので時々わきへ寄りながら私が歩いて行くと、それらの店は次々に視界を通りすぎていった。

その1人の女性がオーバーを着、サイフを持ち、私の腕をつかんで私を市役所まで連れてきてくれた。彼女は私を待合室に連れて行き、誰かに紹介した。

私は座って彼女の方を振り返りお礼を言った。



しかし彼女はいなくなっていた。

私は、オサム・イナバから丁寧にあいさつを受けた。

3時間の豊中周遊が始まった。最初の地は市役所のまん前El camino Real wission bellが誇らしげにかかっていた。それは1964年に友情のしるしにサンマテオ市民から豊中市の人々へ贈られたものだった。



市役所の横のあたりにアメリカ杉がそびえていた。それは60年代半ばに、日本に送られたものだ。その時は3フィートほどの小さなものだったが今では30フィート以上になっている。

「どのくらいまで高くなりますかね」と尋ねられ、「そうですね、アメリカ杉は世界でも有数の背の高い古い木ですからね。もう2,30年すればこの木も通行人の目標になりますよ」と私は言った。

交通停滞をぬって近くの大阪空港へ出かけた。途中私はまた、豊中とサンマテオが似ていると思った。どちらも近くに大きな国際空港をもっている。空港は観光事業、仕事や他の経済的利益をもたらす。しかしそれは大気汚染や騒音公害、交通停滞を意味する。

他の地で大きな新しい大阪空港の建設がとり組まれている。

古い空港をどうするかについて既に論争がおこっている。

我々は空港に入り、——、スシのカウンターに向った。おすし、日本の有名料理のひとつは生の魚とさめた一口のごはんを重ねたものだ。おいしかった。もっとも私はごはんがハシからすべり落ちるのでかなりもたもた食べていたんだが。

我々はニュータウントヨナカも訪れた。ニュー

ータウンは人口約24,000人だ。New Town Toyonaka は町全体家も、商業も学校も公園も一度に創るという構想のもとに20年前にスタートしたものだ。

サンマテオの近隣都市フォスター市と似ていなくもない。日本では、この種のニュータウンは最初の試みであり、以後の町づくりのモデルとして役立っている。

「我々の重要問題は、騒音や大気汚染、住宅密集地域の再開発とモノレールの建設です」と説明を受けた。

モノレールは、現空港と豊中をつなぎ、さらに新空港に延びる予定で、大阪府が建設をする。

大阪府は我国の州と同じような行政単位で（大阪市、豊中市や他の市を含め）人口880万人。

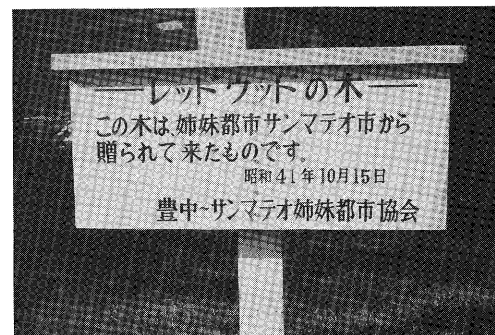
我々は、高層アパートが建ち並んだ一角を通りぬけた。建物は近代的で立派だった。しかし日本には耕地が少ないので（日本は山の多い国だ）、アメリカなら草ぼうぼうになるようなところでも、空いた土地は狭くともすべて畑として耕される。

「アメリカ人は、日本のことをどう思いますか」との問いに「私の少い経験からしか話せませんが」と、私は少ししか知らないことについて話すのをちゅうちょしながら言った。

「子供の頃は——日本製——という言葉は、つくりの悪い製品のことであった。日本が戦後経済復興に努力していた時だったので、ペン、オモチャ、家財道具はとても品質が悪かった。」「しかし、近頃ではトヨタ、ダットサン、ホンダ、



ニコンといった日本製品は高品質を誇り、アメリカ人は、日本人のそのようなすごい製品を創る能力に敬意を払っているように思う。」



「アメリカ人は、テレビの“将軍”を見て、日本の歴史についてたくさん学びました…」と私は言った。「日本人も“将軍”を見ました。しかし、あれにはたくさんのまちがいがあります。」と彼は笑っていた。

我々が最後に訪れたのは、下水処理場だった。豊中市はその敷地の上にプールとグラウンドを作った。下水処理場から出た汚泥を焼やした熱は、プールの水を温めるのに使われている。これは日本で初めての試みだ。

その後、彼らは私を駅まで送り、私が電車に乗るのを見とどけ、さようならを言った。私は心残りながら出発した。心に残る日本訪問だった。

——わずか1日の豊中探索ではあったが、突然の訪問者である私を温かく親切に迎えてくれた豊中の人々に感謝するとともに、心に残る日本訪問をいまなつかしく思い返している。

## 故広石前会長を偲んで



豪放磊落な前広石会長さんが、ご逝去されてから早や1年になろうとしています。

昭和52年9月に当協会の二代目会長に就任されて以来、55年10月に亘る3年有余の間はもちろんのこと、勇退後も顧問として当協会の発展のため、格段のお力添えをいただきました。

協会の将来の展望を常に頭に描きながら、一旦意を決すれば信念を貫徹される方でありました。

とりわけ、法人会員の増強にご尽力を賜わり、1,000万円の基金を目標に各団体に対して積極的に寄附を呼びかけられ、将来のサ・市との交流基金として有効に活用できるよう、協会にとって多大のご功績を残されたのであります。

また、ご生前のご遺志により、自らもご寄附されるなど私達は深い感動を覚えた次第であります。

目的達成に向けて、私達も広石会長さんのご遺志を受け継ぎ協合発展のため、一層の努力をいたす所存であります。

眼鏡の柔和な笑顔の広石会長さんのご逝去は、誠に痛恨の極みではありますが、ここに残された業績の偉大さを偲び、そのご遺徳に心から深い感謝の意を表するとともに、ご冥福をお祈りするものであります。

## 基金の積立についてお知らせ

基金積立制度が発足して3年余りたちましたが、会員の皆様方の温かいご理解と、ご協力によりまして5団体・1個人から寄附をいただき利息についても、次のようになっておりますのでお知らせします。

特に、この基金積立制度発足にお力添えをいただきました前会長広石幸八郎氏(故人)の意志を受けて、ご子息の広石幸一氏から寄附をいただきました。

(57.3.31現在)

寄 附 金	年 月 日	金 額	利 息			元 利 合 計
			54年度	55年度	56年度	
豊中ロータリークラブ	54.6.20	1,000,000	34,747	85,866	93,794	1,214,407
豊中商工会議所	55.1.23	1,000,000	5,526	82,343	86,530	1,174,399
豊中交通安全自動車協会	55.7.28	1,000,000	—	49,050	83,533	1,132,583
豊中ライオンズクラブ	56.3.31	1,000,000	—	848	41,057	1,041,905
豊中南ロータリークラブ	57.3.25	1,000,000	—	—	2,288	1,002,288
広 石 幸 一	57.3.29	1,000,000	—	—	1,248	1,001,248
合 計		6,000,000	40,273	218,107	308,450	6,566,830

(注) 寄附金は、5年ものの信託預金にしています。

### 《その他の行事》

- ◎ 5月29日  
昭和55年度の会計監査を行う。
- ◎ 6月26日  
昭和56年度総会並びに役員会を開催し、  
下記案件について審議した。
  - ①昭和55年度の会務報告、歳入歳出決算  
認定ならびに監査報告について
  - ②昭和56年度事業計画について
  - ③昭和56年度予算について
  - ④役員の変更について

### 《編集後記》

長年姉妹都市協会の事務局を担当していただいた稲葉 修さんがこのたび市の異動でかわられました。

今後とも、協会の会員として、お力添えをお願いいたします。

なお、事務局を引継いだ職員一同、協会発展のため微力ですが頑張る所存ですので、会員の皆様方には一層のご指導、ご鞭撻をお願いいたします。